

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1962
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.55, No.1 (1962. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19620101--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田學會雜誌

1962年 1月号

論 説

- 輸出による強制貯蓄……………矢内原 勝 1
 ——ガーナのココア輸出の例——
 ソ連・東欧の貿易関係……………加藤 寛 28

資 料

- ジョン・フランシス・プレイ(一)……………遊部久蔵 48

研究ノート

- 法人税転嫁の諸問題(一)……………古田精司 62

書 評

- ジョージ・カトナ著『経済を動かす消費者』……………中鉢正美 78
 ルーベール著『ルイ・ブラン』……………野地洋行 86

新刊紹介

昭和37年10月1日
 昭和37年11月1日
 昭和37年12月1日
 第三種郵便物認可
 発行(毎月) 1日
 九〇三号
 (行)

55 卷 **1** 号

輸出による強制貯蓄

——ガーナのココア輸出の例——

矢内原 勝

1 国民所得とココア輸出

ガーナのココアの輸出額と総輸出額の推移は第1表にみられる。前者の後者に占める比率は一九五二—五七年間平均六五%、一九五八年は六〇%、一九五九年は六一%である。ココアに次いで第二位を占める金の総輸出額に占める比率は一〇%内外であるから、輸出に占めるココアの重要性は明白である。ガーナの国民所得についてはシーア(Dudley Seer)とロス

第1表 ココアの輸出額
(単位 100万ガーナ・ポンド)

	ココア	総輸出額
1938	4.5	11.4
1952	52.5	86.4
1953	56.1	89.9
1954	84.6	114.6
1955	65.6	95.7
1956	51.1	89.6
1957	50.9	91.6
1958	62.3	104.6
1959	68.8	113.4
1960*	26.2	41.9

10万ポンド以下4捨5入
* 1月—4月
(出所) Cmd. 9769, Cmnd. 195, Ghana Handbook of Commerce and Industry, 3rd., 1960.

(C. P. Ross)の推計がある。これは一九五一年のアンケートによる推計であるが、一九四八/四九年度には、当時の価格で年間一人あたり所得は二四ポンド弱、一九五〇/五一年度には三五ポンド強である。一九四八年のアメリカの年間一人あたり所得は三七五ポンドであつて、これと比較すればもちろん著しく低い、しかしアフリカ諸国のなかではガーナ(ゴールド・コースト)の一人あたり国

輸出による強制貯蓄

新刊紹介

ヘンダーソン、クオント共著『現代経済学』……………福岡正夫 91
小宮隆太郎訳
——価格分析の理論——

篠原三代平著『日本経済の成長と循環』……………大熊一郎 91

宮本又次著『フランス経済史学史』……………渡辺國廣 93

越村信三郎著『マルクス主義計量経済学』……………持丸悦朗 93

W. アイザード共編『地方経済計画』……………高橋潤二郎 94
J.H.カンパーランド

ヘルベルト・マルクーゼ著
梶田啓三郎・中島共訳『理性と革命』……………飯田裕康 96
盛夫・向來道男